

# 広報かわにし

一人口の動き

9月1日現在

男 5,939人  
 女 6,148人  
 計 12,087人  
 世帯数 2,588世帯

発行所 川西町役場 発行者 川西町 <川西町長職務代理者>  
 <川西町助役田口一男>  
 編集人 星名四郎 印刷所 白南風社 定価 1部5円



## 十王堂 (東善寺) の少年相撲大会

毎年8月31日の夜おこなわれ、ことしてもう何回目になるのかはつきりおぼえている人もないくらい歴史も古い。戦後の混乱期にも中断されることがなかった。ことしはあいにくの雨にたたられたが、それでも大勢の豆力士が元気にハッケヨイ

## ◆ 九月の行事

- 一日 臨時町議会
- 二日 教職員体育大会
- 三日 千手地区敬老会
- 四日 一分団ポンプ入魂式  
大沢川川西線調査
- 四日 管理主事学校視察
- 五日 農業委員会
- 六日 教育委員会

### 新潟県

#### 老人福祉大会で表彰

さる八月二十一日、高田市厚生会館で開催された第三回新潟県老人福祉大会の席上、多年、老人福祉に功績のあった丸山寛治氏(橋老友クラブ)が晴れの表彰をうけた。

#### 郡市社会福祉大会表彰

八月三日田沢小学校で開催された中魚沼郡十日町市第十六回連合社会福祉大会で、川西町から、次のかたがたが表彰をうけた。

- 大久保武義氏(野口)
- 民生委員在任中、地域の幼児保育につくされた功績に対して
- 崎テル氏(越ヶ沢)
- 地域の母子会の発展に貢献されたので。

- 金山良晃氏(役場・籍条)
- 高橋鉄治氏(高倉)

ともに、永年社会福祉に従事された功績に対して。

#### 社会福祉協議会に寄付

上町の平野キイさんは、さきごろ亡くなったご主人の平野金太郎さんの香典がえしにと、一万円を

- 六日 町PTA理事会
- 七日 退管の会談
- 八日 千手小学校運動会
- 十日 町民野球大会
- 十二日 川西中マラソン大会
- 十五日 敬老の日
- 十七日 家庭の日
- 十九日 満月
- 二十一日 彼岸入り
- 二十四日 秋分の日

このほど町社会福祉協議会に寄付された。

### 8・28 水害に義援金

木島子ども会(代表繁原富夫君 会員三十三名)では、廃品回収で得た四千二百七十円をお見舞いと激励の手紙にそえて県知事あてて寄託した。同会では昨年もごつかいを出しあって水害地へ見舞金をおくっている。

## 広報スポット

### とく名で衣料品

学校町の二名のかた(とくに名を秘す)から役場社会係にあてて、水害地のお見舞として衣料品の寄託があり、日用品などが不足している現地の状況だけに大変よろこばれている。

### 交通事故の届け出を忘れず

国保の被保険者が交通事故で医療を受けなければならないときはすみやかに届に出してもらわなければならない。

事故の状況を説明できる人であればどなたでも結構ですから、認印を持って国保係の窓口までおいください。

一 町議会報告一

議会役員を全面更迭

議長和久井・副に平野氏

九月一日に第六回町議会臨時会が招集され、任期二年という申し合  
わせによる議会役員を全面改選が行なわれた。その結果、議長に和久  
井精一氏、副議長に平野圭三氏が当選し、今後二年間の議会運営を担  
当することとなった。

常任委員会についても、別項のとおり全面的に入れ替えが行なわれ  
正・副委員長も産経副委員長の丸山茂吉氏が再選されたほか、全面的  
に交替し、議会の人事は全く一新された。

その他、教育委員の任期満了に伴う任命の同意、同じく診療所運営  
委員の委嘱に同意を求める件等、人事に関する案件が大部分であった  
事務的なものとしては、条例の一部改正、無事もどし金の交付、退  
職手当組合の加入、脱退等のほか、請願一件が審議された。

二票差で和久井氏  
が当選

正副議長選挙の経過

この日の会議は、午前十時に南  
雲議長の手によって開会された。  
まず、退職手当組合関係の案件、  
条例の一部改正等の事務的の議  
案を議決、次いで教育委員丸山宗  
太郎氏の任期満了に伴い、再び同  
氏を任命したい旨の提案に同意の  
議決をしたのち、休憩にはいり、  
議長以下全役員の前表を取りまと  
め、田中副議長が議長席について  
再開を宣し、南雲章氏より提出さ  
れた議長辞職願を上程した。

議長辞職の件を許可する議決を  
したのち、ただちに後任議長の選  
挙にはいり、堂々めぐりの投票を  
行なった結果、次のとおり和久井  
精一氏が十四票で当選と決定した  
一四票 和久井精一  
一二票 南雲章



和久井議長

この結果について、当選者に対す  
る当選告知が行なわれ、当選者の  
あいさつがあったのち、新議長が  
ただちに議長席についた。

副議長は四票差

次いで、新議長の司会のもとに  
田中副議長の辞職願の許可を議  
決したのち、副議長の選挙を行な  
い、次のとおり平野圭三氏が選出  
された。

副議長選挙開票結果  
一三票 平野 圭三  
九票 田中 圭三郎



平野副議長

正副委員長は  
委員会で互選

正副議長選出ののち、常任委員  
会の正副委員長から提出された辞  
任願を上程、これを許可したの  
ち、昼食及び協議のため休憩には  
いった。

休憩中常任委員会の所属変更に  
ついて協議し、別記のとおり新し  
い委員会の構成について合意に達  
した。次いで委員長、副委員長の  
選出方法についての協議に移り、  
一応次の三つの方法にしばって検  
討された。

①従来どおり地区別にそれぞれ  
のポストを割り当て、その線に従  
って議会で選挙する。

②各委員会の所属委員全員を候  
補者として議会全員で投票し、最  
高得票者を委員長、次点を副委員  
長とする。

③委員会毎に正副委員長を互選  
し、その結果当選した者を議会に  
おいて指名推薦により選任する。  
以上のうち、協議の結果③の方  
法を採用することとなり、各委員  
会毎に互選した結果を本会議にか  
けて、指名推薦により正式に決定

二票 市川 富二  
一票 内山常治郎  
一票 丸山 恆正



小林総文委員長

新しい常任委員会の構成は次の  
とおりである。◎委員長 ◎副委  
員長

△総務文教委員会  
定数九、欠一

◎小林与作 ○小林申一 山家音  
平 市川富二 齊藤政良 馬場ト  
禰 和田光興 登坂敬恆(欠一)は  
和久井議長の委員辞退によるもの

△産業経済委員会  
定数九

◎中村金作 ○丸山茂吉 中村昌  
平 桐生昌平 星名安信 押木二  
吉 平野圭三 水落達一 内山常  
治郎

△土木厚生委員会  
定数八

◎田中圭三郎 ○高橋愨八郎 南  
雲章 齊木定太郎 桐生周平 滋  
野一郎 丸山恆正 小川清次

診療所運営委員等

教育委員のほか、この議会でそ  
の委嘱に同意した診療所運営委員  
及び町長から報告された園遊運営  
協議会委員は次のとおりである。

△診療所運営委員



中村産経委員長

丸山茂吉 齊木定太郎 馬場ト  
禰 丸山恆正(以上議員) 関口重  
作 高橋吉太郎 数藤孝平 田中  
液治 藤原英策 片桐荘太(以上  
地元選出)

△国保運営協議会  
委員

清水周平 鹿野重治 大久保武  
義 茂野有之助(以上被保検査代  
表) 藤巻力雄 登坂敬恆 川崎  
信夫 富井政七(以上医師、薬剤  
師代表) 小林申一 和田光興



田中士厚委員長

登坂敬恆 内山常治郎(以上公益  
代表)

長岡で  
議員研修会

例年行なわれている県下町村議  
員研修会が、ことしも九月七日の  
同じ日に長岡市厚生会館で開催さ  
れ、議員多数が受講した。講師は  
評論家大河内敏夫氏、講演の題名  
は一内外の政治情勢について。



敬老の日

みんなで  
つくろう  
楽しい  
老後



### 健康メモ 肩こりの原因と予防

肩こりを訴える人の多いにおどろきます。わたしは白米食国民のつねとして、B足りんが多いからでしょうが、これはビタミンB剤だけでは解決しないようです。柔かく大きな枕に肩をうめて寝るようにすると肩が冷えず、肩こりのもとである血行障害を防ぐことができます。

虫歯も肩こりの原因となりやすいし、変化にとほしい仕事を続ける職業の方なら、ちよつとした時間背のびをしたり、腕をふったりして肩の筋肉を動かすことが大切です。

また、メガネの度が合わないし肩こることもあります。ゆっくりと入浴して体の血行をよくし、すぐ床にはいってやすむ温熱療法が効果的なようです。

**目まいのいろいろ**  
目まいがするので鉄剤をのんだ

### 納骨堂に立派な 拜殿が完成

(橋地区)

橋地区では、昭和十八年に忠霊塔建設を計画し、境内の整地等ができたところで終戦をむかえることになり、連合軍の指令により忠霊塔の建設ができなくなりました。しかし、当時の状況としては戦没者のおの石碑をたてることなど思いもおよばない時であったので、村民でとおとい戦没者の霊をなぐさめ、また戦没者の精神を敬仰していきなさいということ、

が少しもよくならないという人がいます。

貧血からくる目まいには鉄剤をのむことがたしかに有効といわれますが、耳なり、ドキドキ、手足の冷え、肌荒れ、つかれやすいツメの変形などがいっしょにくる場合が多いようです。

### 保健婦だより

低血圧はなくても内耳の関係や一酸化炭素中毒からも目まいがするし、年ごろの女性だと、神経過敏による目まいもあるようです。このほか、更年期症の目まいもあるし、ガンコな目まいはやはり医師にみてもらってください。

**健康の自己診断**  
自分の健康状態が良いのか悪いのか確実につかめたら、どんな病気でも早期発見、早期治療ができます。

次のような点が健康のひとり診断に役立つでしょう。

(良いしるし)・体重がふえもへりもせず安定している。気分にもちがなく快活である。朝起きたときそう快である。朝、顔を洗うとツルツルしているが、じつと脂がつてなめらかである。食事が楽しい。雨が降っても気分がめいらない。グチや悪口があまりでない。ツメはきれいな桜貝・坂や階段でたいて思切れない。足どりが軽く、立ち止まってもアゴが前にでない。乗り物の中でいねむりなどしない。

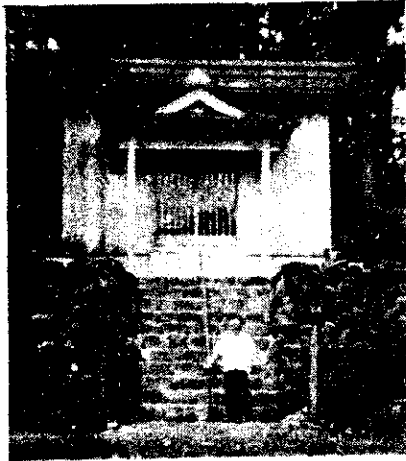
ひとくちにいえば、健康とは安定して波風立たずといった姿だと思います。

自分の健康をしっかりとつかめて、秋のとり入れにガンバツてください。

### 今月の相談日

橋地区 二十三日午前中

光陰は矢のごとしと、かの後いつしか二十年を過ぎました。が、昨年、拜殿を造り、遺族



できあがった境内を、橋の殉公墓地と定め、納骨祠を造って各戦没者の霊位をおおさめしたのが昭和二十年の秋であり、その後、毎年八月十六日を例祭日として今日におよんでおりました。

納骨祠は当時の各種の事情から一坪の小さいもので経費や用材も有志の寄付等によってまかなわれ、時期をみて築増をした

の老人が参拝においでのととき休息ができるようにしてあげたいという話しがでてまいりました。

これを区長会が中心となって計画をすすめ、全地区民をもって橋地区戦没者慰霊奉賛会を結成し、予算を七十五万円として寄付をねがったところ七十六万八千二百円という多額の浄財を得て、これまでの納骨祠を奥の院として、前に六坪の拜殿をつくることになった。工事は順調にすすんで八月十日完成、十六日には竣工式にひきつづいて全遺族と地区民が参集して慰霊祭をとりおこなうことができました。

これで永年の念願も達成し、遺族も、命日にはここで戦没者の霊にお参りし、静かに語りもできることになり、心からよろこんでおります。

全地区民からの御寄付、また土地、備品等の御寄付に対して関係者一同深く感謝しております。

### 地方自治法施行 二十周年記念懸賞 論文を募集

応募要領

- 一、主催 自治省ほか全国知事会など六団体
- 二、テーマ 「あすの地方自治」
- 三、主題はこれによつていただきませんが、内容は地方自治の将来を論ずるものであれば、地方自治全般にわたるものでも、あるいは都道府県や市町村の組織・機能・税・財政等を論ずるものでも、あるいは地域開発や地方における民生・衛生・商工・水

### 戸籍の窓から

- うぶ声—御すこやかに
- |       |       |     |
|-------|-------|-----|
| 数藤 茂伸 | 仲治長男  | 沖立  |
| 大井 厚子 | 善一郎二女 | 島   |
| 高橋 正則 | 洋二二男  | 上町  |
| 小林 健  | 芳夫二男  | 寺尾  |
| 里名奈津子 | 邦夫長女  | 伊友  |
| 里名 洋介 | 隆一四男  | 伊友  |
| 上村 光弘 | 信雄二男  | 上野  |
| 保坂 友夫 | 秀男長男  | 大白倉 |
| 齋木 英和 | 喜代蔵長男 | 高倉  |
- 新郎 丸山 静男 下原  
○新婦 中村カオル 北海道から

二位 一点賞金十五万円、三位 一点賞金五万円、佳作 三点賞金各一万円。

九、不明の点やその他ごまかな内容は役場総務課へ照会のこと。

### かわにし俳壇

- 太田白南風 送  
小白倉 江口凡石  
大海を横切つて屋流れけり  
踊れ踊れ踊れ夜もよし作もよし  
大倉 中條夢人  
黒姫に雨雲のある残響かな  
発電所通り 小川越人  
伏差しに差したるまの秋団扇  
天の川片言の子と話しつゝ  
中屋敷 小林たみえ  
ひまわりの大きく咲ける駅を出る  
寺尾 白井ト三  
茄子もげば指にしみたるなすの色  
蟬しぐれ抱き上ぐ昔子の重きこと  
伊友 里名三ホ  
万緑の上ロープエーのぼりゆく